



三回表、松葉は無死三塁の同点機で、三走・小室(右)がワイルドピッチの隙を狙うも本塁タッチアウト。豊上・神林捕手が俊敏な動きでピンチを救う

|           |   |
|-----------|---|
| 豊上ジュニアーズ  | 0 |
| 松葉        | 0 |
| ニユーセラミックス | 0 |
| 1         | 0 |
| 0         | 0 |
| 0         | 0 |
| 2         | 0 |
| 3         | 0 |
| X         | 0 |
| 6         | 0 |

第45回全日本学童軟式野球大会柏市予選(柏オークライオンズクラブ旗)は3月30日、同市の柏レジェで決勝があり、豊上ジュニアーズが松葉ニユーセラミックスを6-0で破り、6大会連続9度目の優勝を果たした。豊上と松葉は柏市代表として全国大会県予選に出場する。3位はビクトリージャガーズBだった。小学生野球の最高峰、高

▽決勝  
豊上は一回、神林駿豪のランニング本塁打で先制すると、四回に敵失と蛭間悠智のタイムリー二塁打でリードを広げ、五回には神林のスクイズ(安打)と関澤月陸の2点タイムリーで突



6大会連続9度目の優勝を飾った豊上ジュニアーズ

第16回東葛地域少年野球大会選手権大会が3月23日、流山市の京和ガスベースボールパークであり、流山ホークス(流山市)が、大橋みどりファイターズ(松戸市)を9-5で破り、優勝した。流山ホークスは、「小学生の甲子園」と呼ばれる全日

## 野球 東葛地域少年野球大会 流山ホークス、県大会へ 流れ崩さず、追撃かわす



優勝した流山ホークスの選手たち=流山市

本学童軟式野球大会への切符をかけ、千葉県大会に挑む。大会には、野田、流山、松戸の3市から、各4チームの代表チームが参加。決勝では、午前中の準決勝を勝ち上がった2チームが、その熱気を帯びたまま激突

した。大会は初回、立ち上がりの硬さが残る大橋を、長短打で一気に畳み込み、6点を挙げた。4回の守備では無死満塁から4失点し、1点差に迫られたが、その裏、流山は再び好機をつかんだ。無死一、三塁で打席に立ったのは3番倉田隼輔。「絶対、自分が打って走者を返す」と、少し高めの球をとらえ、二塁打を放ち、再びリードを広げた。

最終回、倉田が守備でも魅せた。左翼を守る倉田は、頭を超す飛球を追いかけて、その熱気を帯びたまま激突

した。大会は初回、立ち上がりの硬さが残る大橋を、長短打で一気に畳み込み、6点を挙げた。4回の守備では無死満塁から4失点し、1点差に迫られたが、その裏、流山は再び好機をつかんだ。無死一、三塁で打席に立ったのは3番倉田隼輔。「絶対、自分が打って走者を返す」と、少し高めの球をとらえ、二塁打を放ち、再びリードを広げた。

最終回、倉田が守備でも魅せた。左翼を守る倉田は、頭を超す飛球を追いかけて、その熱気を帯びたまま激突

した。大会は初回、立ち上がりの硬さが残る大橋を、長短打で一気に畳み込み、6点を挙げた。4回の守備では無死満塁から4失点し、1点差に迫られたが、その裏、流山は再び好機をつかんだ。無死一、三塁で打席に立ったのは3番倉田隼輔。「絶対、自分が打って走者を返す」と、少し高めの球をとらえ、二塁打を放ち、再びリードを広げた。

最終回、倉田が守備でも魅せた。左翼を守る倉田は、頭を超す飛球を追いかけて、その熱気を帯びたまま激突

した。大会は初回、立ち上がりの硬さが残る大橋を、長短打で一気に畳み込み、6点を挙げた。4回の守備では無死満塁から4失点し、1点差に迫られたが、その裏、流山は再び好機をつかんだ。無死一、三塁で打席に立ったのは3番倉田隼輔。「絶対、自分が打って走者を返す」と、少し高めの球をとらえ、二塁打を放ち、再びリードを広げた。

最終回、倉田が守備でも魅せた。左翼を守る倉田は、頭を超す飛球を追いかけて、その熱気を帯びたまま激突

した。大会は初回、立ち上がりの硬さが残る大橋を、長短打で一気に畳み込み、6点を挙げた。4回の守備では無死満塁から4失点し、1点差に迫られたが、その裏、流山は再び好機をつかんだ。無死一、三塁で打席に立ったのは3番倉田隼輔。「絶対、自分が打って走者を返す」と、少し高めの球をとらえ、二塁打を放ち、再びリードを広げた。

最終回、倉田が守備でも魅せた。左翼を守る倉田は、頭を超す飛球を追いかけて、その熱気を帯びたまま激突

した。大会は初回、立ち上がりの硬さが残る大橋を、長短打で一気に畳み込み、6点を挙げた。4回の守備では無死満塁から4失点し、1点差に迫られたが、その裏、流山は再び好機をつかんだ。無死一、三塁で打席に立ったのは3番倉田隼輔。「絶対、自分が打って走者を返す」と、少し高めの球をとらえ、二塁打を放ち、再びリードを広げた。

最終回、倉田が守備でも魅せた。左翼を守る倉田は、頭を超す飛球を追いかけて、その熱気を帯びたまま激突

した。大会は初回、立ち上がりの硬さが残る大橋を、長短打で一気に畳み込み、6点を挙げた。4回の守備では無死満塁から4失点し、1点差に迫られたが、その裏、流山は再び好機をつかんだ。無死一、三塁で打席に立ったのは3番倉田隼輔。「絶対、自分が打って走者を返す」と、少し高めの球をとらえ、二塁打を放ち、再びリードを広げた。

最終回、倉田が守備でも魅せた。左翼を守る倉田は、頭を超す飛球を追いかけて、その熱気を帯びたまま激突

き放した。投げては山崎樹、加藤豪篤の2投手で松葉を完封。許したヒットは1本だけだった。主将の神林捕手が3安打2打点、3盗塁の活躍で最優秀選手に選ばれた。走攻守で運動能力の高さを発揮した神林は「全国優勝を狙っています。まずは県大会、1試合1試合、大事に戦っていきたい」と冷静に足元を見つめる。

今年度の代表チームが低学年チーム時代から、高野範哉監督は「粒ぞろい。2年後が楽しみ」と期待していた。その評価はいまも変わっていない。

「選手的能力で格上に勝てるチーム。打撃は歴代で一番かもしれない。豊上を全国大会の常連に育てた指揮官は「今年と来年のチームは、全国優勝を狙えるイメージがあります」と自信をのぞかせた。

白井市スポーツ少年団春季交流野球大会が4月5日、富士南園広場グラウンドであり、白井ライナースが2勝し、優勝した。大会は市内3チームのリーグ戦で行われた。ライナースは、昨秋の大会で3位

に終わったため、この大会での「リベンジ」を掲げ、守備や走塁に重点を置いた練習を重ねてきた。この日は、1試合目を10-6で競り勝ち、2試合目と同じく1勝の七次台ジャガーズと対戦した。

ライナースは初回、1死二、三塁で4番田中星が左中間を抜ける三塁打を放ち、先制。三回にも4長短打を固め打ちし、3点を挙げてリードを広げた。守備でも随所で落ち着いた捕球や送球を見せるなどし、7-0と完封で4回コールド勝ちした。

大会の最優秀賞に輝いたのは初回に三塁打を放った田中。「1試合目はいい当たりがなかった。2試合目は力まず、ボールがバットに当たるまでしっかり見ることができた」と振り返った。主将の鈴木蒼和はこのチームはすごい。みんなの努力した成果がでたと喜んだ。

小見哲也監督は「1試合目は緊張したため、守備に乱れもあったが、2試合目は力まず守ることができ、勝つことができた。ハラハラドキドキして見守っていたが、子どもたちは練習の成果を出すことができた」と笑顔を見せた。

白井市ライナースが2勝し、優勝した。大会は市内3チームのリーグ戦で行われた。ライナースは、昨秋の大会で3位

に終わったため、この大会での「リベンジ」を掲げ、守備や走塁に重点を置いた練習を重ねてきた。この日は、1試合目を10-6で競り勝ち、2試合目と同じく1勝の七次台ジャガーズと対戦した。

ライナースは初回、1死二、三塁で4番田中星が左中間を抜ける三塁打を放ち、先制。三回にも4長短打を固め打ちし、3点を挙げてリードを広げた。守備でも随所で落ち着いた捕球や送球を見せるなどし、7-0と完封で4回コールド勝ちした。

大会の最優秀賞に輝いたのは初回に三塁打を放った田中。「1試合目はいい当たりがなかった。2試合目は力まず、ボールがバットに当たるまでしっかり見ることができた」と振り返った。主将の鈴木蒼和はこのチームはすごい。みんなの努力した成果がでたと喜んだ。

小見哲也監督は「1試合目は緊張したため、守備に乱れもあったが、2試合目は力まず守ることができ、勝つことができた。ハラハラドキドキして見守っていたが、子どもたちは練習の成果を出すことができた」と笑顔を見せた。

白井市ライナースが2勝し、優勝した。大会は市内3チームのリーグ戦で行われた。ライナースは、昨秋の大会で3位

に終わったため、この大会での「リベンジ」を掲げ、守備や走塁に重点を置いた練習を重ねてきた。この日は、1試合目を10-6で競り勝ち、2試合目と同じく1勝の七次台ジャガーズと対戦した。

ライナースは初回、1死二、三塁で4番田中星が左中間を抜ける三塁打を放ち、先制。三回にも4長短打を固め打ちし、3点を挙げてリードを広げた。守備でも随所で落ち着いた捕球や送球を見せるなどし、7-0と完封で4回コールド勝ちした。

大会の最優秀賞に輝いたのは初回に三塁打を放った田中。「1試合目はいい当たりがなかった。2試合目は力まず、ボールがバットに当たるまでしっかり見ることができた」と振り返った。主将の鈴木蒼和はこのチームはすごい。みんなの努力した成果がでたと喜んだ。

小見哲也監督は「1試合目は緊張したため、守備に乱れもあったが、2試合目は力まず守ることができ、勝つことができた。ハラハラドキドキして見守っていたが、子どもたちは練習の成果を出すことができた」と笑顔を見せた。

白井市ライナースが2勝し、優勝した。大会は市内3チームのリーグ戦で行われた。ライナースは、昨秋の大会で3位

に終わったため、この大会での「リベンジ」を掲げ、守備や走塁に重点を置いた練習を重ねてきた。この日は、1試合目を10-6で競り勝ち、2試合目と同じく1勝の七次台ジャガーズと対戦した。

ライナースは初回、1死二、三塁で4番田中星が左中間を抜ける三塁打を放ち、先制。三回にも4長短打を固め打ちし、3点を挙げてリードを広げた。守備でも随所で落ち着いた捕球や送球を見せるなどし、7-0と完封で4回コールド勝ちした。

大会の最優秀賞に輝いたのは初回に三塁打を放った田中。「1試合目はいい当たりがなかった。2試合目は力まず、ボールがバットに当たるまでしっかり見ることができた」と振り返った。主将の鈴木蒼和はこのチームはすごい。みんなの努力した成果がでたと喜んだ。

小見哲也監督は「1試合目は緊張したため、守備に乱れもあったが、2試合目は力まず守ることができ、勝つことができた。ハラハラドキドキして見守っていたが、子どもたちは練習の成果を出すことができた」と笑顔を見せた。

白井市ライナースが2勝し、優勝した。大会は市内3チームのリーグ戦で行われた。ライナースは、昨秋の大会で3位

に終わったため、この大会での「リベンジ」を掲げ、守備や走塁に重点を置いた練習を重ねてきた。この日は、1試合目を10-6で競り勝ち、2試合目と同じく1勝の七次台ジャガーズと対戦した。

ライナースは初回、1死二、三塁で4番田中星が左中間を抜ける三塁打を放ち、先制。三回にも4長短打を固め打ちし、3点を挙げてリードを広げた。守備でも随所で落ち着いた捕球や送球を見せるなどし、7-0と完封で4回コールド勝ちした。

大会の最優秀賞に輝いたのは初回に三塁打を放った田中。「1試合目はいい当たりがなかった。2試合目は力まず、ボールがバットに当たるまでしっかり見ることができた」と振り返った。主将の鈴木蒼和はこのチームはすごい。みんなの努力した成果がでたと喜んだ。